|  |
| --- |
| 実技課題「訓練課題名　電気系保全作業」実施要領 |

実施要領

準備　有接点シーケンス制御回路の製作

省略・・・各施設の指導員等にて事前準備

例：定員３０名の場合････パターン１～５を各６台で合計３０台製作

例：定員３６名の場合････パターン１～６を各６台で合計３６台製作

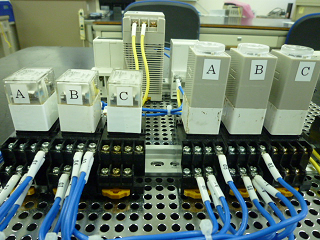
例：定員３０名の場合････パターン１～５を各２台で合計１０台製作

例：定員３６名の場合････パターン１～６を各２台で合計１２台製作

* 事前準備となりますので、良品のリレー・タイマ以外にも、故障リレー・タイマも台数分必要になります。（詳しくは、E-20B-02\_解答及び解説を参照して下さい。）

例：パターン１（良品リレー2個、不良品リレー1個･･････合計3個）

（良品タイマ2個、不良品タイマ1個･･････合計3個）



パターン１の例

・リレー３個

・タイマ３個

課題１　リレー・タイマ単体の点検作業

指定された作業盤にリレー・タイマがそれぞれ数個ある。この中のリレー・タイマの一部に不良品が混ざっている。このリレー・タイマ類を作業盤上のリレーチェック回路のソケットを使用し、テスタを用いて異常箇所・原因を検出し、解答用紙に記入する。

課題２　有接点シーケンス回路の点検作業

指定された作業盤に組み立てられたシーケンス回路において、課題２の問題より選定した良品のリレー・タイマ類を用いて、その中に組み込まれた異常配線箇所の線番号・機器端子番号を検出し、解答用紙に記入する。

≪作業時間≫

課題１及び課題２の作業時間を合計して標準４０分（打切り４５分）とする。

例：定員３０名の場合････事前準備としてパターン１～５を各６台で合計３０台製作

例：定員３６名の場合････事前準備としてパターン１～６を各６台で合計３６台製作

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 実施事項 | 受講者 |
| 13：00～13：05  13：05～13：45  　　　打切り13：50  13：50～13：55 | 出席確認、作業準備  課題１リレー・タイマ単体の点検作業  課題２シーケンス回路点検作業  解答用・問題用紙等、配布資料回収 | 30名  又は  36名 |

例：定員３０名の場合････事前準備としてパターン１～５を各２台で合計１０台製作

例：定員３６名の場合････事前準備としてパターン１～６を各２台で合計１２台製作

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 時間 | 実施事項 | 受講者 |
| 13：00～13：05  13：05～13：45  　　　打切り13：50  13：50～13：55 | 出席確認、作業準備  課題１リレー・タイマ単体の点検作業  課題２シーケンス回路点検作業  解答用・問題用紙等、配布資料回収 | 10名  (12名) |
| 14：00～14：05  14：05～14：45  　　　打切り14：50  14：50～14：55 | 出席確認、作業準備  課題１リレー・タイマ単体の点検作業  課題２シーケンス回路点検作業  解答用・問題用紙等、配布資料回収 | 10名  (12名) |
| 15：00～15：05  15：05～15：45  　　　打切り15：50  15：50～15：55 | 出席確認、作業準備  課題１リレー・タイマ単体の点検作業  課題２シーケンス回路点検作業  解答用・問題用紙等、配布資料回収 | 10名  (12名) |

≪注意事項≫

1. パターン５のタイマは、動作タイミングの関係上、オムロン製(H3Y等)を推奨。
2. 声を出して作業せず、作業にあたっては怪我などしない様、十分に注意させる。
3. 配布資料に「科名」「氏名」「パターンNo.」を記入させること。  
   作業終了後、配布資料は全て提出させる。
4. 課題１及び課題２を行う際、試験課題は既に配線してあります。  
   それらの配線は取り外さない、追加を行わせないこと。
5. 作業中、機器は丁寧に扱い、破損には注意する。また、分解させない。
6. 作業終了後、導通チェックにおいてテスタのヒューズを溶断させない。
7. 作業終了後、動作確認においてブレーカを動作又はヒューズを溶断させない。
8. 作業終了後、元々あった状態に復旧すること。
9. 試験課題の解答に関する質問には答えられません。
10. 配線作業中、リレー・タイマの抜き差し時は電源をＯＦＦさせること。
11. タイマの時間設定を忘れないこと（設定時間は問題用紙に記載されている）

* 持参するもの「回路計（テスター）１個」「ワニ口クリップ付電線３本」「シャープペンシル・鉛筆、消しゴム等」とする。
* メモ用紙等は持込み禁止とし、メモが必要な場合は問題用紙、解答用紙の空欄等を利用して下さい。
* 試験終了後は、問題用紙、解答用紙、作業手順・リレー・タイマの構成及びソケット等の配布用紙は全て提出させる。
* 試験終了後、「解答及び解説」を元に採点を行う。